

# 【バージョンアップ】 統合開発環境 e<sup>2</sup> studio 2022-01

R20TS0781JJ0100  
Rev.1.00  
2022.01.16 号

## 概要

統合開発環境 e<sup>2</sup> studio を 2021-10 から 2022-01 へバージョンアップします。

主な機能改善・変更は以下になります。

- Eclipse platform と CDT(C/C++ Development Tooling)バージョンの更新
- Renesas コンパイラ新製品 CC-RX V3.04.00 および CC-RL V1.11.00 に対応
- RL78/F24 グループに対応
- RX スマート・コンフィグレータ バージョン 2.12.0 に対応

製品の概要は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2studio>

## 1. アップデート対象バージョン

- e<sup>2</sup> studio 2020-04 から 2021-10 までの各バージョン

e<sup>2</sup> studio のバージョンは、e<sup>2</sup> studio のメニュー「ヘルプ」から、「e<sup>2</sup> studio について」を選択すると開くダイアログに表示されます。

## 2. バージョンアップ内容

主なバージョンアップ内容を以下に記します。詳細は、リリースノートをご参照ください。  
リリースノートは e<sup>2</sup> studio 製品ページの「ドキュメント&ダウンロード」の「その他資料」に掲載されます。（1 月 20 日から公開予定）

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html?q=R20UT5076&genre=document>

### 2.1 新規機能、機能改善

以下の機能につき改善および変更を行いました。

改善内容の詳細は前述のリリースノートの"What is new in 2022-01?"をご参照ください。

#### 2.1.1 eclipse/CDT プラットフォームのバージョン更新

eclipse および CDT(C/C++ Development Tooling)のそれぞれ新しいバージョンが適用されます。  
詳しくは [www.eclipse.org](http://www.eclipse.org) より、以下の資料をご参照ください。

| e <sup>2</sup> studio バージョン | 2021-10        | 2022-01        |                                               |
|-----------------------------|----------------|----------------|-----------------------------------------------|
| eclipse                     | 4.20 (2021-06) | 4.21 (2021-09) | <a href="#">eclipse – What's New</a>          |
| CDT                         | 10.3.1         | 10.4.1         | <a href="#">eclipse Wiki – CDT What's New</a> |

### 2.1.2 Renesas コンパイラ新バージョン対応

以下の新しいコンパイラ製品が e<sup>2</sup> studio 2022-01 からサポートされます。

- RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ V3.04.00
- RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ V1.11.00

詳細については各製品のリリースノートおよびツールニュースを参照してください。

### 2.1.3 新デバイス対応 (RL78 ファミリ)

新たに RL78/F24 グループに対応します。対象のデバイスグループでプロジェクトの作成、ビルド、デバッグ機能が利用できます。

注意： RL78/G24 グループは e<sup>2</sup> studio 2021-10 から対応しております。

### 2.1.4 スマート・コンフィグレータの機能改善 (RX ファミリ)

RX スマート・コンフィグレータ V2.12.0 に対応します。

### 2.1.5 ビルド機能の改善

- 最適化の設定においてリンカオプションとコンパイラオプションを連動させる機能を追加しました。(CC-RX および CC-RL)

リンカの最適化を有効に設定した際、リンカの最適化に必要なコンパイラオプション-goptimize を自動的に指定します。

- スタック解析ビューが LLVM for RL78 用プロジェクトでも利用可能になります。

LLVM for RL78 ツールチェーンでビルドしたプロジェクトで、関数毎のスタックサイズが関数のコールツリーと共にスタック解析ビューに表示されます。

### 2.1.6 デバッグ機能の改善

- RH850 のマルチコアデバイスで、同期デバッグが可能になりました。  
複数のコアに対して同時にブレークまたは同時に実行する操作を行えるようになります。
- RL78 ファミリ周辺機能シミュレータのユーザインターフェースを改善しました。下記の画面について、前回終了時に表示されていたウィンドウが次回起動時に再表示されるようになります。
  - ✧ 信号データエディタ
  - ✧ タイミングチャート
  - ✧ 入出力パネル
  - ✧ シリアル
- RL78/G23 グループのうち 128 ピンまでのデバイスを周辺機能シミュレータのサポート対象に加えしました。今回追加したデバイスでも"QE for current consumption"の機能は利用できます。
- RL78 ファミリ周辺機能シミュレータに"I2C in SAU"の対応を追加しました。

## 3. アップデート方法

e<sup>2</sup> studio の製品ページ(下記の URL)からインストーラをダウンロードし、インストールを行ってください。(2022-01 は 1 月 20 日から公開予定)

<https://www.renesas.com/e2studio>

インストーラは「ドキュメント&ダウンロード」の Downloads 欄内に掲載されております。

注意 1 : インストール済の e<sup>2</sup> studio に上書きインストールしないでください。

インストール先のフォルダパスに全角文字、半角カナ文字、および"\_(アンダースコア)以外の記号が含まれないようにしてください。

注意 2 : 本製品は 64 ビット版 Windows OS でご使用ください。

32 ビット版の Windows OS では動作しません。

注意 3 : RA ファミリ、Renesas Synergy™についてはソフトウェアパッケージが同梱されたインストーラを以下のサイトで公開しておりますのでこちらをお使いください。

RA ファミリ : <https://github.com/renesas/fsp/releases>

Renesas Synergy™ : <https://www.renesas.com/software-tool/e-studio-renesas-synergy>

以上

## 改訂記録

| Rev. | 発行日       | 改訂内容 |      |
|------|-----------|------|------|
|      |           | ページ  | ポイント |
| 1.00 | Jan.16.22 | -    | 新規発行 |
|      |           |      |      |

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

## 本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

[www.renesas.com](http://www.renesas.com)

## お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

[www.renesas.com/contact/](http://www.renesas.com/contact/)

## 商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。